

2022年4月5日

## 経済産業省が定める「DX 認定取得事業者」に選定

日立造船株式会社は、このほど、経済産業省が定める DX（デジタル・トランスフォーメーション）認定制度にもとづき、「DX 認定事業者」として認定を取得しました。



DX 認定制度は、「情報処理の促進に関する法律」にもとづき、デジタルガバナンス・コードの基本的事項に対応する企業を経済産業省が認定する制度であり、経営ビジョンの策定や DX 戦略・体制の整備などに取り組み、DX 推進の準備が整っている事業者が認定されます。

本認定の取得は、中期経営計画や DX 推進のための事業戦略などの取り組みが、経済産業省が定める認定基準を満たすとともに、ステークホルダーへ適切に情報開示していることなどが評価されたものです。

当社は、現中期経営計画「Forward 22（2020 年度～2022 年度）」の基本方針「製品・サービスの付加価値向上」を促進する具体的施策として、「先端技術（IoT や AI）の活用で、製品・サービスの付加価値向上」を掲げており、昨年 12 月に「事業 DX」「企業 DX」「DX 基盤」の 3 要素を柱とした DX 戦略<sup>※1</sup>を策定し、本年 2 月には DX リーダー育成に関する施策を開始しました。

DX 推進・デジタルの活用は、顧客へ提供する価値を最大化するために必要不可欠であり、新たなコンセプトによるビジネスの創造・展開を行うことで、当社は「サステナブルで、安全・安心な社会の実現に貢献するソリューションパートナー」となることを目指していきます。

(終)

※1 以下の 3 要素を軸として、顧客価値の向上に取り組みます。

事業 DX：当社の製品・サービスにデジタル技術を付加し、新たな価値を創造する

企業 DX：業務効率化・生産性向上を通じた働き方改革を推進する

DX 基盤：DX 推進に必要なデジタルプラットフォームの構築や人材育成を行う